

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和5年度病害虫発生予察防除情報第9号

かんきつ かいよう病の防除対策について

かんきつかいよう病の発生について令和5年7月19日付け**病害虫発生予察注意報第2号**において注意を喚起したところですが、台風6号の接近による強風雨などにより、依然として発生が平年よりやや多い状況です。下記の点に注意して防除指導をお願いします。

記

1. 発生状況

- (1) 8月前期の巡回調査（36筆）の結果、発病葉率は0.3%（平年 0.3%）、葉での発生圃場率は25.0%（平年 14.6%）で（図1、2）、発病果率は0.5%（平年 0.1%）、果実での発生圃場率は16.7%（平年 6.3%）であった（図3、4）。
- (2) 気象予報（福岡管区气象台、令和5年8月17日発表）によると、向こう1か月の降水量は平年並の見込みであるが、今後の台風接近による強風雨での、本病の感染増加が懸念される。

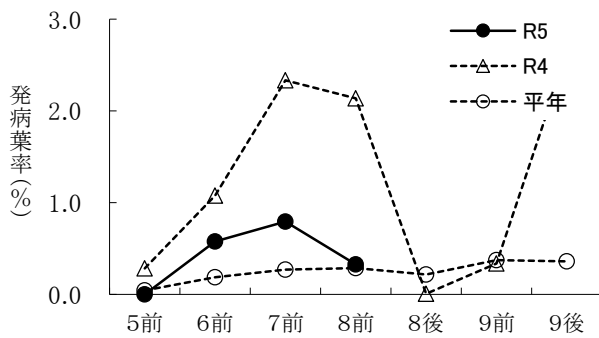


図1 かいよう病 発病葉率の推移

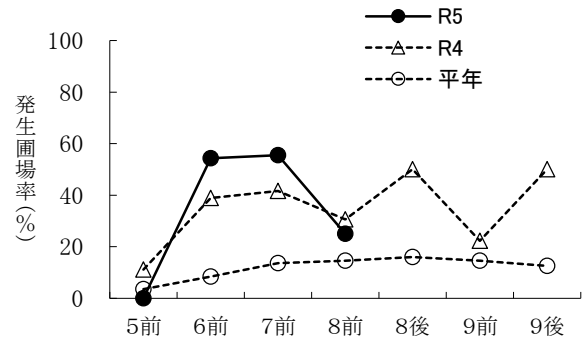


図2 かいよう病(葉) 発生圃場率の推移

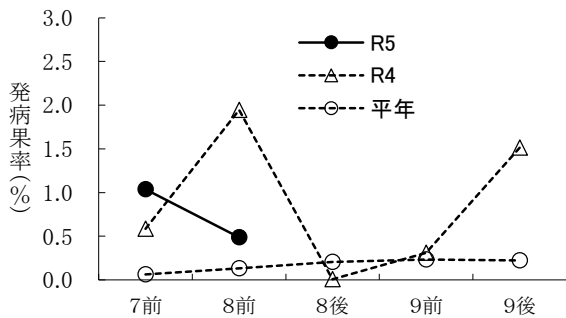


図3 かいよう病 発病果率の推移

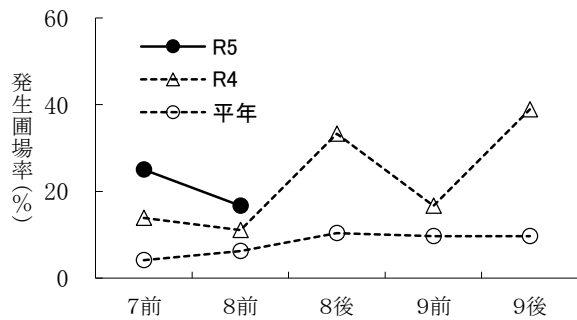


図4 かいよう病(果実) 発生圃場率の推移

2. 防除対策

- (1) 本病の抑制には、予防的な薬剤散布が効果的である。強風を伴う雨が予想される場合には、事前に銅水和剤の散布を行う。
- (2) 感染源を減らすため、発病枝や発病果は除去し、圃場外に持ち出し処分する。

- (3) 銅剤は高温期に散布すると薬害を生じることがあるため注意する。また、薬害防止のため農薬のラベルに従い、炭酸カルシウム水和剤（クレフノン等）を混用する。
- (4) 各品種による耐病性は下表のとおりである。耐病性が弱い品種は特に注意する。

表 かいよう病に対する各品種の耐病性（令和5年長崎県病害虫防除基準より）

耐病性	品 種 名
弱い	グレープフルーツ、ネーブル
やや弱い	ナツダイダイ、天草、みはや、津之望、麗紅
中程度	温州みかん、清見、不知火
強い	ハッサク、ポンカン、ユズ、キンカン、日向夏、璃の香

-
- 6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。
- 長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。
「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
(長崎県病害虫防除所) ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>
- この情報に関するお問い合わせ
長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室
(長崎県病害虫防除所) TEL：0957-26-0027

